

観光でまちを元気に! 日本・ふるさと 再発見!

改訂版



かんたろう 観太郎

鉄道と祭り好き。
でも旅行はもっと
大好きな小学5年生。

ひかる

観太郎のクラスメイト。
折り紙や工芸品が
好きな女の子。

観光AIロボット たびえもん

様々なデータに詳しい
観光AIロボット。
温泉とどら焼きが好き。

ジェーソン

観光で日本へやってきた外国人。
日本文化に興味があり、
漫画好き。



この本の使い方(先生方へ)

基本理念「観光は平和へのパスポート」

国際連合(以下「国連」という)が国際観光年(1967年)に決めたスローガンは「観光は平和へのパスポート(Tourism; Passport to Peace)」です。それ以来、世界各国の人々が「観光」で交流することは、人種や民族、宗教など、異文化や習慣に対するお互いの理解を深め、誤解や差別・偏見をなくし、平和な社会を築いていくことに貢献する大きな役割を担っているとされ、継承されています。

<本書の主な内容>

観光産業はこれからの日本の有力な成長産業のひとつです。日本の各地域では、新型コロナウイルス感染症によって外国人観光客を目にすることが少なくなりました。しかし、今後人口が徐々に減っていく日本の経済を支えるためには、より多くの外国人観光客に日本に来てもらわなくてはなりません。それには、日本でもっと楽しく過ごしてもらい、日本が世界の人々から愛される国になっていくことが重要です。それが日本の地域を豊かにして、そして元気なことだと考えています。

そのためには、未来を担う子どもたちに学校授業において日本各地の魅力的な観光資源や、ますます増加する観光需要等について伝え、地方創生の切り札である観光産業への興味関心を喚起するための「観光教育」の充実を図ることが急務となってきています。

本書は、主に「日本の観光の魅力」や「特色」、「私たちにできること」についてまとめました。

<本書の活用方法例>

◆総合的な学習の時間

- 「旅行プランや企画」を考える授業
- 地域調べ「地域の魅力」「地域の自慢(宝)」
- 「未来のまちづくり」構想

◆社会

(下記は小学校・中学校の例)(総合的な学習の時間とリンク可能)

- 「地域の魅力・自慢(宝)さがし」
- 4学年「県の特徴ある地域」(観光視点)
- 5学年「各種産業と生産物」(ブランド)、「産業と関わる情報」(観光情報)
- 6学年「歴史上の人物や文化財・世界遺産・日本遺産」、「世界とつながる日本」
- 中学校「地理的分野の観光の項目にて」

◆外国語・英語

- 外国の人と文化交流しよう!(異文化交流)
- まちかどで案内ガイド体験しよう!
「Hi, friends! 2 道案内をしよう」など

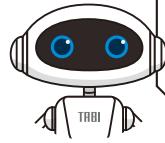
◆キャリア教育

- 観光のしごとを体験しよう、県の観光振興に貢献した偉人

「観光」って何だろう？

\\ 本章のねらい \\
観光の意味や
観光のかたちを
学ぶ

1 いろいろな観光



さあ！これから
観光について
説明シマス！

1 観光の意味

- ①日本や外国の人々との交流をすることでお互いの理解が深まり、平和な世界が築かれます。
- ②地域の魅力を再発見することで改めて地域の素晴らしさに気づき、地域の自然や伝統文化を大切にするようになります。
- ③多くの人々が旅行をすることで観光産業だけでなく農業や漁業、製造業、IT産業なども活性化させ地域の経済を豊かにします。

旅行に行くともっと日本や世界のことが好きになりそう！



2 観光にはいろいろなかたちがあるよ！

観光は時代とともに多様化しています。今は娯楽や仕事、健康や教育、スポーツなどのように、「遊ぶ」「楽しむ」「学ぶ」「くつろぐ」といった目的で、旅に出かけるようになっています。みんながよく知っている遠足やコンサート、スポーツ観戦、仕事の出張も観光のひとつのかたちなんです。

いったい
どんな観光が
あるの？



わあ～
こんなにたくさん
あるんだね～

修学旅行



家族旅行



社員旅行



卒業旅行



夫婦旅行

イベント・ライブ



ビジネス

スポーツ観戦



スポーツ観戦

リゾートウェディング



(これは一例です)

2 考える時間

他にもどんな観光があるか、みんなで考えてみよう



2 観光客にとってのメリットを知ろう

観光による 5つの メリット

① 見て感動する

日本や外国の美しく雄大な風景、遺跡や史跡、風物などを訪ねて、今まで見たことのない場面や出会った事のない物を見て感動することです。

② 体験する

その土地の産業や文化を地元の人々から教えてもらい、自分の身体で体験することで、その土地ならではの良いところを学んだり交流ができます。

③ リフレッシュする

日常から離れて旅に出かけるだけでリラックスできたり、気分が変わってわくわくして楽しく、胸が高鳴る体験をすることで、リフレッシュできます。

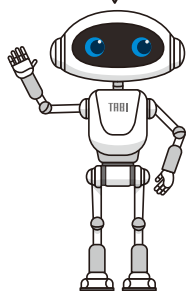
④ 人との交流

一緒に旅行する人や、旅行先で出会った人たちとの交流やつながりを通じて協調性がやしなわれ、時間やお金の大切さも学ぶことができます。

⑤ 知識を深める

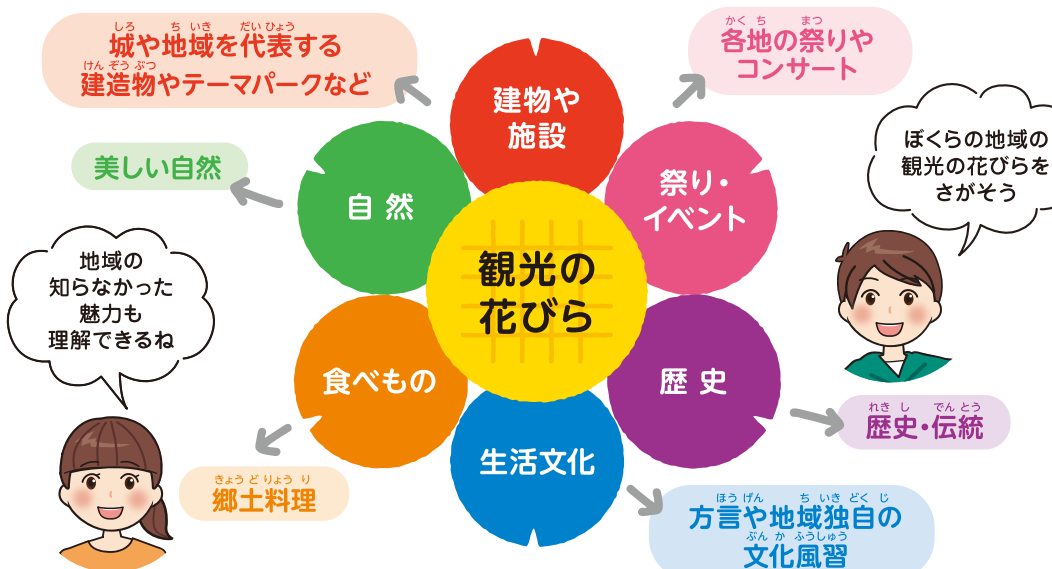
国内でも海外でも、旅行には現地で歴史や文化や地理など、さまざまな学びがあるので、たくさんの知識が深まり見聞を広げることができます。

体験や人との
交流も大事
デス!



？ 考える時間

☑ あなたの地域の6つの観光の花びらを話し合ってみよう



3 観光が地域にもたらす効果



1 地域が元気になる



※1.マイクロツーリズム…自宅から近場への旅行を表す言葉
※2.サステナブル・ツーリズム…天現と未来を含めた地域の経済、社会、環境を十分に考慮し、受け入れ側地域に対応した「持続可能な観光」

2020年からの新型コロナウイルス感染症の流行で、観光業は大きな打撃を受けました。しかし、日本各地で熱意と創意工夫による魅力的な観光地域づくりが行われ、地域経済が活性化する動きが加速。地域の観光も徐々に元気を取り戻しています。さらに観光地の混雑を避けて自然やアウトドアへの関心が高まったり、地域の魅力を再発見して元気づけるマイクロツーリズム※1や、持続可能な観光のサステナブル・ツーリズム※2の取り組みなどが、新しい観光のカタチとして期待されています。

2 平和と経済発展に貢献



観光は人々との交流をすすめ、お互いをわかり合う心や信頼関係をつくります。1967年は国連が指定した「国際観光年」でした。その後、世界各国は多くの観光客に来てもらい、経済を発展させるために、観光地の整備や人材育成などに取り組みはじめました。

また国連は「観光は平和へのパスポート」と提唱しました。

観光は経済発展に貢献するだけでなく、世界各国の人々のお互いの理解を深めることで、平和な世界を築くために大きな役割をもっているのです。



考える時間



今後、観光からどんな効果が生まれてくるのか、みんなで話し合ってみよう

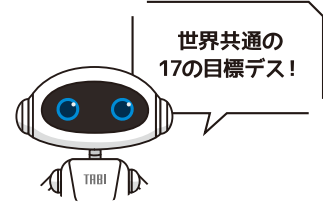
4 世界をよりよくする目標

※ 本章のねらい ※
 エスディーゼーズ
 SDGsと観光の
 つながり
 を学習する

このままでは地球が持たない、子供や孫たちの世代の未来がないという危機感から、2015年に国連は、2030年までに目指すべき持続可能な開発目標SDGs(Sustainable Development Goals、以下SDGs)を立てました。

これからの地球・人間社会を考える上で取り組まないといけない世界共通の目標で17の項目が決められました。

ひとつしかない地球で、誰一人取り残されることなく安全・安心に暮らし続ける世界を目指しています。



1 観光業が特に大きな役割をもつSDGsの達成目標項目

観光業は、自然環境や観光資源を守りながら持続・発展していけば、SDGs達成に大きく貢献する役割をもっています。

特に大きな役割と明記されている※のが、経済成長を続けることができること、消費と生産を確保できること、海の豊かさを守ること、この3つの目標の8と12と14です。

8 働きがいも経済成長も

目標 8

例えば

みんなが生まれた地域で働いて、その地域が経済成長する

12 つくる責任 つかう責任

目標 12

例えば

マイバッグを持つ、食品ロスを減らす(作りすぎない・食べ残しをしない)

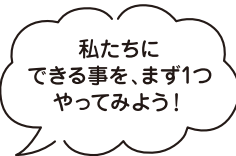
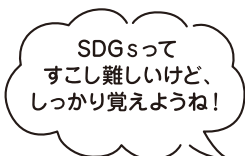
14 海の豊かさを守ろう

目標 14

例えば

海の中の資源をとりすぎない、海や海岸をきれいにする

※UNWTO駐日事務所ホームページ参考 <https://unwto-ap.org/why/goals>



2 住み続けることができる観光まちづくり

国内の観光分野においてもSDGsに取り組む意識が^{いしき}高まってきています。「住み続けることができる観光まちづくり」の実現のためには、SDGsを取り入れた持続可能な観光地域づくりとサステナビリティ※が重要だと考えられています。

※サステナビリティとは、地域の経済を回し、地域コミュニティの維持と地域の天然資源や社会環境、自然環境を保全し、次の世代へと継承していく取り組みのことです。その中心となるものは受け継がれる自然であり、その土地に住む人々であり、その人々が紡いできた歴史や伝統文化です。

「住み続けることができる観光まちづくり」の大事な取り組み

STEP 1

地域・まちの人がみんなで自然、文化、歴史、産業、人材など、観光で活かせる地域資源(宝)を探す

環境をこわさずに地域資源(宝)を観光に活用できるように、受け入れ体制を整備する

STEP 2

地域・まちに観光目的でたくさんの人が集まってくる

観光分野で働ける場所と人が増える

地域・まちに活力がついて、住んでいる人も元気になる

STEP 3

地域・まちの経済が豊かになる

地域・まちの魅力と特性が向上し、どんどん発展する

実践されることにより..



期待されるSDGs達成目標/成果

- 海や山、まちの自然・地球環境を改善し、守り続けることができる **目標 14・15**
- 観光資源や地域資源を見直したり、守り続けることができる **目標 7・11・12**
- お互いの文化や社会、さまざまな人々を認め合い、寛容の精神を生む **目標 5・10**
- 地域の観光ビジネスで働く人が増える **目標 8**
- 安心安全な社会を作って、地域に平和をもたらすことができる **目標 16**
- 経済の持続的な成長ができる **目標 8**



これが地域の「観光資源(宝)」とSDGsにもつながっていくんだね!

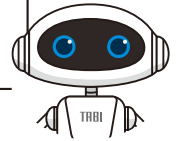
考える時間



私たちの住む地域やまちの観光資源(宝)はどんなものがあるか、みんなで考えてみよう

5 これからの観光

次はこれからの
観光について
説明シマス!



1 見る観光から体験する観光へ



見る観光(京都 清水寺)



体験する観光(染物体験)

これまで、観光は有名な観光地(清水寺、富士山、宮島など)を訪問して、見ることを指していましたが、今では外国人観光客にも人気がある、地域のおかしを作ったり、和紙作りをしたり、着物を着たり、農業を手伝ったりといった「体験する観光」が注目されています。

2 地域を元気に(観光振興)

かん こうしん こう

観光振興とは、住民や役場や市役所と地域のあらゆる産業が一体となって協力し、観光客に来てもらって「おもてなしする」しくみ(受け入れ体制)を地域全体で作ることです。

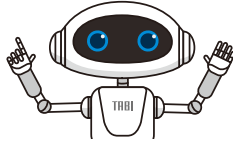


観光振興と
農業・林業・漁業は、
どんな関係が
あるのかしら



② 考える時間

他にもどんな新しい観光があるのか、みんなで考えてみよう



ここからは
「なぜ日本が観光立国を
目指しているか」を
説明シマス!

1 なぜ日本は観光立国を目指すのか

日本政府は「住んでよし、訪れてよしの国づくり」という豊かな国民の生活を実現することを目的に、観光を21世紀における日本の経済発展のための重要な産業として、はっきりと発表しています。

1 観光立国推進基本法とは？

観光立国の実現を国家戦略と位置づけ、経済発展、国民生活の安定向上や国際相互理解の増進に貢献することを目的に2007(平成19)年1月より施行された法律です。地域を生かした主体的な取り組みを尊重しつつ、地域住民が誇りと愛着を持ち、地域社会の持続可能な発展を目指すために観光立国への取り組みは不可欠な重要課題と位置づけられています。

(観光庁HPより抜粋)

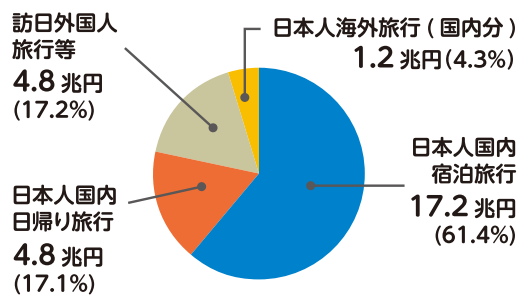
国は2007年から
こんな取り組みを
進めているんだね



2 観光は地域の経済発展に貢献します

地域を訪れる観光客が宿泊や観光施設、おみやげ店などを利用することで、経済効果が生まれます。しかもホテルや旅館、レストランなどで使用される食材に地域産のものが使われていれば、農業や漁業も関連しています。また、観光客が利用するおみやげ店も製造業やサービス業に深く関わっています。このように観光産業は地域の様々な産業と一体となって協力し、地域の経済発展に貢献しているのです。

観光旅行で使われたお金 27.9兆円 (2019年)



出典:観光庁「旅行・観光消費動向調査」、「訪日外国人消費動向調査」等より算出

日本への経済貢献度 (経済効果)

外国人観光客によって使われたお金は
2018年と比べて2,946億円増えています。

外国人観光客が
日本で使ってくれた金額(4.8兆円)は
自動車12兆円、化学製品8.7兆円に
次いで3番目なのね。

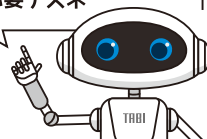


2 外国人観光客に戻ってきてもらうためには

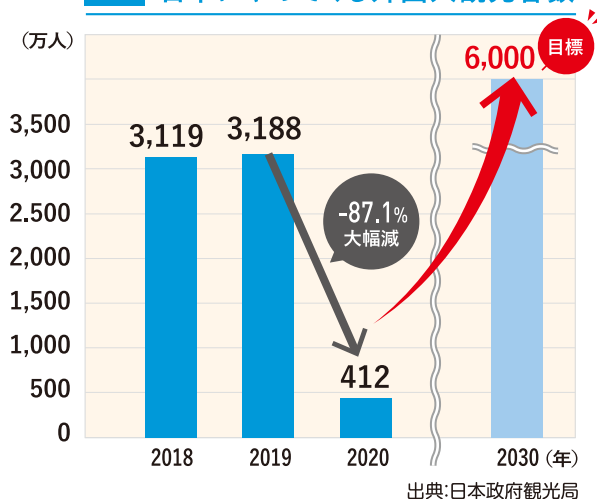
1 観光の魅力を再発見して、外国人観光客を取り戻す

日本を訪れた外国人の観光客数は、2019年度3188万人に達し（前年比2.2%増）過去最高を記録しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により2020年には412万人まで減少（前年比87.1%減）しました。しかし今後も日本の経済を守り、観光業を回復・発展させるためには、感染拡大防止策の徹底をしながら、今まで以上に日本・ふるさとの観光の魅力を発信して、積極的に外国人観光客を迎え入れることがとても重要です。

日本経済を守るためには、感染対策をしながら外国人観光客に来てもらうことが必要です。



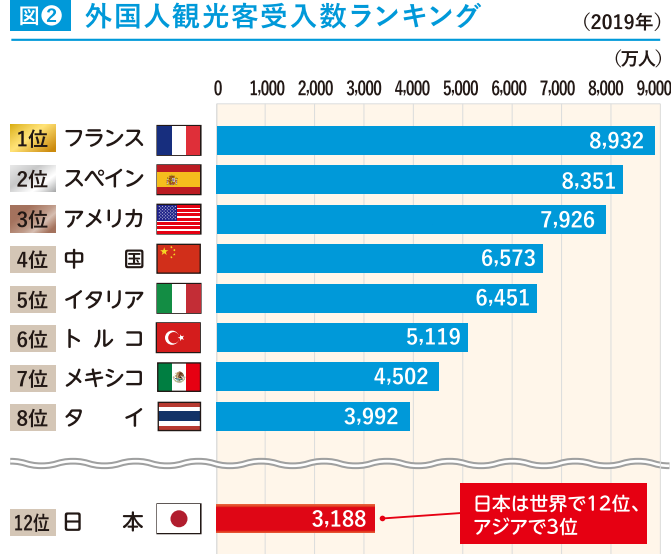
図① 日本にやってくる外国人観光客数



2 世界各国を訪れる外国人の観光客数

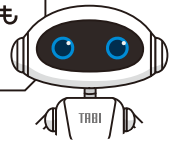
世界各国からの観光客数が多い国としてフランス、スペイン、アメリカがここ数年、ランキングの1~3位を独占。日本は世界12位、アジアでは3位。2019年までは毎年日本を訪れる外国人観光客数は増加しており、ランキングも上がっていました。

図② 外国人観光客受入数ランキング



3 YOUは何を目的に日本へ?

外国人から見た日本も
興味深いデス!



1 外国人観光客に人気の観光地



山梨県 富士吉田市
あらくらやませんげんこうえん
新倉山浅間公園



長野県 山ノ内町
じごくだにや えんこうえん
地獄谷野猿公苑



福岡県 北九州市
かわち ふじえん
河内藤園

新倉山浅間公園は富士山と五重塔、桜を同時に見ることが出来る「これぞ日本の風景」として人気に、地獄谷野猿公苑は、「スノーモンキー」と呼ばれる雪の日に温泉に入る野生の猿が外国人に人気です。また河内藤園は2015年にアメリカの放送局から「日本の最も美しい場所31選」で紹介され、世界的に有名になりました。



外国人に人気の理由が知りたいね!

2 外国人から見た日本の魅力

いろいろな国で調べてみたよ



出典:観光庁「2019年訪日外国人消費動向調査」

- 1位 おいしい日本食
- 2位 ショッピング
- 3位 美しい自然や景観
- 4位 街あるき
- 5位 温泉



アメリカ



イギリス



オーストラリア



中国



ドイツ

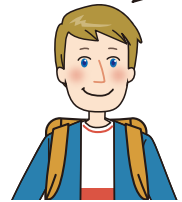


韓国



インド

Japanese
Sushi
I like it!



3 国による習慣の違い



出典:日本観光振興協会発行「インバウンド虎の巻」

- フランスでは夏に長い休暇を楽しむ人が多い。
- 韓国人は日本に来ててもキムチを食べる。
- イスラム教の人は日本に来てても1日5回のお祈りをする。
- イスラム教の人は豚を食べない、お酒を飲まない。
- 中国人はあたたかい食事を特に好む。

私たちも外国人観光客の習慣や好みを知らないよね

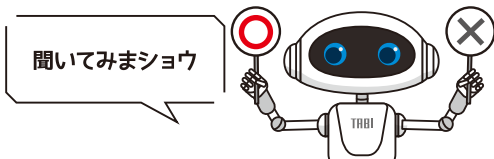


考える時間



なぜ外国人から人気なのか、日本の魅力をみんなで話し合ってみよう

4 外国人観光客が感じた日本の良い点、改善してほしい点



良い点

- 親切で、礼儀正しい
- 食べ物がおいしい
- 治安が良く安全である
- まちがきれい、清潔である
- 電車が時刻どおりに来る



改善してほしい点

- × 外国語での案内が不足
- × 電車が混んでいる
- × イスラム教の人はお祈りする場所がない
- × 英語があまり通じない



5 外国人観光客との英会話

みんなのまちのおすすめの場所やおいしいものは何ですか？
お友達と英会話の練習をしてみよう

∩ let's try it ∩



Hi, welcome to (みんなのまちの名前).



Thank you.



I'm going to show you (おすすめの場所).
Let's get on the train.



OK. Let's go.



You can eat (食べ物) at (場所).



It's nice.



Look, that is (おすすめの場所).



It's great.

コラム

箱根富士屋ホテル 山口仙之助

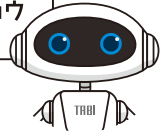
箱根富士屋ホテル(1878年)の創立者。1871年、わが国初の欧米特派大使の岩倉具視に従って、あめりか号で米国にわたり、その後、福沢諭吉の強いすすめで、ホテル業(洋式旅館)を決意し、箱根宮ノ下にあった藤屋旅館を買収し、外国人専用のホテルとし名前を富士屋とした。鉄道が近くに通るようになり、仙之助自身が、着物にぞうりで駅まで客の出むかえにあたり、自らポーターの役目をした。当時、外国への留学を終えたばかりの知識人であった仙之助のホスピタリティ精神あふれた行動が、今日のわが国のホテル業界の基礎を築いた。



箱根富士屋ホテル

4 お互いの国を訪問し合おう

国際交流が大切な理由を理解しましょウ



1 お互いの国を訪問する必要性と新しい観光のスタイル「レスポンシブル・ツーリズム」とは？

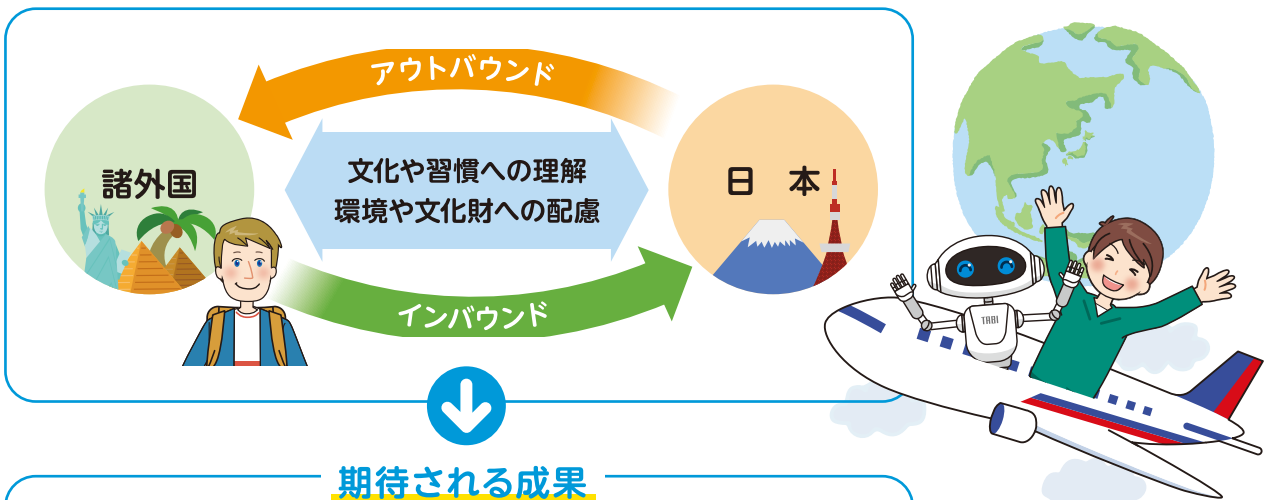
観光立国を目指す日本は、これまでインバウンド*観光に力を注いできましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により海外からの観光客は大幅に減少しました。インバウンドの回復は重要ですが、同時にアウトバウンド*の促進も大切です。お互いの国を訪問し合い交流することを「ツーウェイツーリズム」と言います。交流人口が拡大すれば日本人の国際感覚の向上や国際友好が促進され、外国人から日本への認知も高まることが期待されます。

近年は、観光客が訪問先の地域文化や生活習慣を尊重し、環境や文化財の保全などにも配慮する「レスポンシブル・ツーリズム(責任ある観光)」が注目されています。

これからは、観光客自身が訪問先での行動に責任を持ち、観光地域の存続に配慮しようとする意識がますます大切になります。

*観光業界で使われるインバウンドとは「観光目的で来日する外国人による旅行」、その対義語で使われるアウトバウンドとは「日本人による海外旅行」を指す言葉です。

2 ツーウェイツーリズムの拡大とレスポンシブル・ツーリズムの実践による成果



期待される成果

- 相互の文化交流で国際友好が促進する
- 日本と海外の経済が共に成長する
- 地域環境への負荷が軽減される
- 地域の観光資源や文化が守られる



私たちが世界のいろんな国を見聞したり、お友達も作りたいね



「私たちが住む地域の宝さがし」

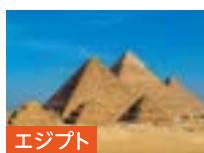
\\ 本章のねらい \\
みんなの住む
まちの宝ものを
考えよう

1 有名な観光地

1 世界遺産とは？

1972年のユネスコ総会で、選ばれた「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」に基づいて世界遺産(World Heritage)リストに登録された、文化財、景観、自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」を持つ場所です。

※2021年現在 1154件(文化遺産897件、自然遺産218件、複合遺産39件
このうち日本の世界遺産は25件(文化遺産20件、自然遺産5件))



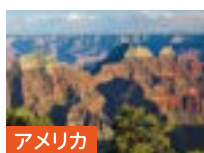
エジプト

1 ギザのピラミッド



フランス

2 モンサンミシェル



アメリカ

3 グランドキャニオン



北海道・北東北の縄文遺跡群

4 三内丸山遺跡



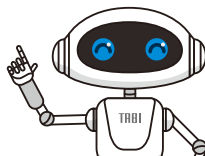
兵庫県

5 姫路城



奄美大島、徳之島、
沖縄島北部および西表島

6 西表島



観光資源は国や地域の宝ものデス



本やテレビで見たことがあるわ!



2 日本遺産とは？

「日本遺産(Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する場所です。

※2021年現在 104件



宮城県

政宗が育んだ“伊達”な文化
1 仙台城(青葉城)跡



長野県

木曾路はすべて山の中
2 妻籠宿



福岡県

関門ノスタルジック海峡
3 門司港

海外旅行も、
自分で好きなテーマを見つけて、
その国の自然や文化を体験する旅に
変わっているようだよ。

考える時間



みんなが知っている海外・国内や、みんなが
住んでいる都道府県の観光地を発表してみよう

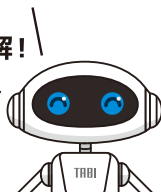


2 全国各地域の宝さがしの良い例

他にも
観光で元気になった
例を教えて



了解!



全国各地域では、
その地域ならではの魅力となる
「お宝」をほり出して
観光の活性化に成功シテイマス

自然を利用した宝さがし

（雪遊び、スポーツ、
環境や農業関連等）

- 北海道斜里町知床
(日本最北の世界自然遺産
で観光と保護の両立)
- 群馬県みなかみ町
(みなかみキャニオンツアー)
- 滋賀県大津市
(びわ湖でのウォータースポーツ体験)



ウォータースポーツ体験

文化・伝統行事を利用した宝さがし

（文化財活用事例、
伝統文化体験等）

- 群馬県富岡市など
(産業遺産を核とした
観光振興)
- 奈良県奈良市(邦楽鑑賞)
- 京都府京都市
(伝統産業プログラム/
京都うるし工芸体験など)



うるし工芸体験

地域の郷土料理や特産物 を利用した宝さがし

（郷土料理活用事例、
そば打ち体験等）

- 三重県鳥羽市
(日本食文化の発信)
- 宮崎県西都市
(そば打ち体験、
檜の実こんにやく作り体験)
- 京都府京都市(京野菜収穫体験)



そば打ち体験

街並みや景観を利用した宝さがし

（“蔵の街”川越の
取り組みなど）

- 埼玉県川越市
(歴史的景観を活かした
活性化事業)
- 岐阜県高山市
(歴史的景観とバリアフリーによる観光振興)
- 滋賀県近江八幡市
(自然と歴史文化を見つめた诗情溢れる風景づくり)



川越の古い街並み

コラム

あぶらや くまはち 油屋熊八さんの宝さがし

あぶらや べっぶ
油屋さんは別府を観光地にしようと、別府港に棧橋を作る
運動をしたり、観光バスに日本ではじめてのバスガイドを乗せたり
しました。地獄めぐりも温泉マークも油屋さんのアイデアです。

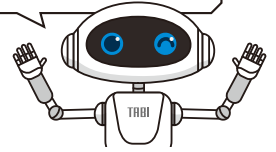
「山は富士、海は瀬戸内、湯は別府」というキャッチフレーズを
考えて、このフレーズをきざんだ標柱を富士山山頂付近に建
てたのをはじめ、全国各地に建ててまわりました。



別府温泉 海地獄

3 私たちの住む地域の宝さがし

君たちで地域のお宝を
考えてみまSHOW!



1 私たちの地域にある宝って何だろう?

観光のためのまちづくりには、自分たちの住んでいる地域の宝(観光資源になるもの)をさがして、活用できるかを考えていくことが重要です。下記の参考例は、あるまちの良いところと改善すべきところを書き出し、将来的に持続可能な観光地にしていくための解決案を考えたものです。

考える
順序

ステップ
1

目標を立てる

目標は先生と相談し
決めていきます

ステップ
2

まず自分で考える

良いところと改善したい
ところを、それぞれ自分で考えて
ふせんに記入します

ステップ
3

グループワーク

みんなの意見が出た後、
それを分類し、解決案を
グループで考えていきます

グループ案
発表

参考例

ステップ
1

目標(例): 私が住むまちに、もっと観光客が来てほしい

ステップ
2

良いところ

独自の歴史や文化、
伝統がある

自然が豊かで
気候が良い

治安が良くて安心して
生活ができる

地域の人たちの
つながりがある

名物の美味しい
食べ物がある

改善したいところ

自慢できる観光施設や
名所がない

観光案内の看板や
観光ガイドがない

宿泊施設や飲食店が
少ない

観光にきてもらうための
情報発信ができてない

移動する交通の手段が
少ないので不便

ステップ
3

グループワークでまとめて考えた解決案

- わかりやすいイラストマップや看板をつくる
- まちの環境の整備(宿泊・体験・飲食・交通など)をする
- 目玉になる食事やお土産、体験を地域の人たちで考える
- 宝となる価値ある体験と地元の文化財をさがす
- まちの動画を撮影して、インターネットで紹介する

ぼくたちの
まちについて
考えてみよう!



② 私たちのまちに観光にきてもらうためのアイデアを考えてみよう!

自分たちの住んでいる地域やまちについても、その魅力(良いところ)と改善したいところ、どうやったらもっと住みやすくなるか、観光客がきてくれるようになるか、15ページの考える順序を参考にしてグループみんなで考え、まとめてみましょう。

ステップ

1

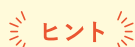
先生と相談して決めた目標を記入しよう: 

ステップ

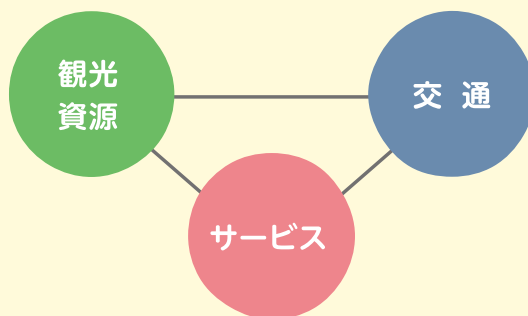
2

それぞれ自分で考えた意見をふせんに書いて貼ってみよう 

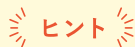
良いところ

 ヒント

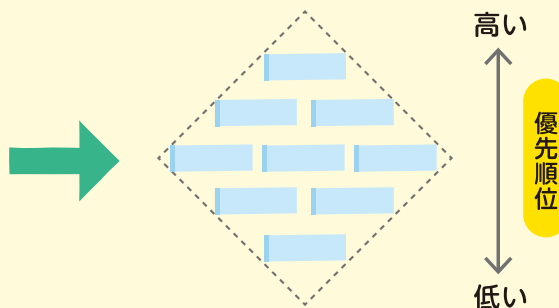
※ 観光が成り立つ3つの要素に仲間分けしてもいいね



改善したいところ

 ヒント

※ 改善したい点が多くあがったら、ダイヤモンドランキングで優先順位をつけよう。



ステップ

3

分類・まとめ (グループワーク)

画用紙などの大きな紙を用意して、グループ全員の意見を記入したふせんを貼り直します。それをみんなで話し合っ、まちや私たちが何をやっていけばいいか、まとめてみましょう

良いところ	改善したいところ	まとめ
<ul style="list-style-type: none">〇わかりやすいイラストマップや看板をつくる	<ul style="list-style-type: none">〇まちの種類の整備(宿泊・娯楽・飲食・交通など)をする	〇目玉になる行事やお土産、体験型や地域の人たちで考える
		〇観光と密となる(集まる)地元の文化財も紹介する
		〇まちの動画を撮影して、インターネットで紹介する

みんなで考えると、いろいろな意見ができるから、面白いよね





ホテルで働く人

交通・運輸で働く人

観光産業を支える人

旅行会社で働く人

第4章

「観光産業」で働く人たち

\\ 本章のねらい \\
観光産業の仕事を理解する

観光産業には、いろいろな種類の仕事があります。そこで働く人たちは皆、観光客に対して「おもてなしの心」をもち、安全で快適な観光をしてもらうことを目指しています。

1 ホテルや旅館で働く人

ホテルや旅館など宿泊施設では、宿泊客のお世話をする仕事だけでなく、料理人、パティシエやおみやげ店で働く人などのさまざまな仕事があります。

3 飲食店やおみやげ店で働く人

観光地には、その地域ならではの産品を食べられる飲食店(レストラン、食堂、カフェなど)や、おみやげ店(おかし、民芸品店など)が必ずあり、多くの人が働いています。

2 テーマパークなどで働く人

テーマパークや遊園地、動物園、水族館などでは、アトラクションにかかわる人たちの他にも、ゲートやショップで働く人、安全管理の人など、たくさんの人に支えられています。

4 旅行会社で働く人、ツアーを案内する人

観光客が観光を楽しめるようにお手伝いをする、さまざまな仕事があります。旅行会社で働く人や添乗員、通訳ガイド、バスガイドなどがその仕事です。

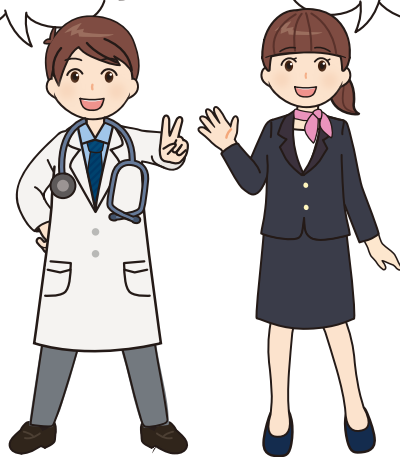


5 観光客の移動を支える人

観光客の移動を手伝う仕事には、電車、バス、タクシーの運転手、船や飛行機の操縦士、乗務員、レンタカー会社、駅、空港、港などの施設で働く人たちがいます。

ぼくは将来
お医者さんになりたいな
外国人観光客が
ケガや病気になったら
親切におおしてあげたい

私はCAさんに
あこがれてるの
得意の折り紙で
みんなによるこんで
もらいたいな



6 安全・快適な観光産業を支える人

観光客と接することがなくても、宿泊施設で使う食材をおさめる農業や漁業の仕事をする人、清掃の仕事をする人も観光と関係しています。病院や警察署、電気、ガス、水道、ゴミ処理施設で働く人たちも観光のサポーターです。

さいごに



上のイラストの中で、興味のある仕事や働く人に
○をつけてみましょう





観光でまちを元気に!
日本・ふるさと
再発見!

第2版 編集委員会

寺本 潔 (玉川大学)
高野 満博(公益財団法人日本修学旅行協会)
山崎 誠 (株式会社JTB総合研究所)
小林 克夫(株式会社ブランドウ・ジャパン)

発行



公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

後援



観光庁

監修: 寺本 潔(玉川大学)

参考文献: 沖縄県観光学習教材

北海道ふるさと教育・観光教育指導資料

学校名

年 組 番

名前